

「歴史と自然を育む三島江の散策」活動

チャレンジング・グループ

10月4日火曜日 前日までと違って変わって、素晴らしい好天に恵まれて、爽やかな一日旅行を楽しむことができました。

今回は「チャレンジンググループ」をたかつき環境市民会議のメンバーとして認知していただくこと、親睦を兼ねて全会員に参加を呼びかけた結果 22名もの多数の参加を得て「歴史と自然を育む三島江の散策」を成功裡に終えることが出来ました。ご参加ありがとうございました。

このツアーは JR高槻駅南口市バスターミナルと「唐崎西口」の2か所を集合場所として、(非営)高槻市文化財スタッフ3名の方から詳しい郷土史や自然風土の説明を受けながら、唐崎から、柱本を経由して三島江まで徒歩散策をして、高槻市南部の光景を堪能しました。

また 今回は 高槻市観光協会の「クイズラリー」にも合致して、有意義に地誌を学ぶこともできました。



唐崎の段蔵

上牧地区の内ヶ池自然回復実験

水環境保全グループ

上牧地区の内ヶ池は高槻市内のため池としては、一番大きいため池です。

H21年度から水質浄化と環境整備を目的に整備工事が行われました。水環境保全グループは、検討委員会ワーキンググループの一員として、水辺環境の創生を目的に緩傾斜砂地の生態系配慮護岸の設置を提案し、2カ所造成してもらいました。

初年度の整備工事で池の水抜きが行われた時に関係者と協力し、魚類(2000匹)、二枚貝(700個)等の救出をすると共に、生き物調査を行い、魚類18種、貝類5種、その他多数のエビ類や亀などを見つけました。これらの事から、この池は多様な生き物の生息場所であった事が分かりました。

H26年度で池の整備工事が終了しましたが、池周辺がコンクリート護岸になり、水辺環境が以前に比べ大幅に失われてしまいました。魚を捕獲するモンドリを仕掛けてもほとんど捕れない状態になりました。要因として岸辺に水草など小魚などの小さな生き物の住処や、産卵場所が無くなった為と思われます。そこで私達は、生態系配慮護岸の緩傾斜地を利用し、生き物のゆりかご作りの実験を行う事にしました。二枚貝の放流、ヨシの移植、粗朶(竹・柳)の沈床実験を始めました。

H28年4月からヨシや二枚貝の定着状況そして粗朶に棲みつく生き物の検証実験を行っています。粗朶に集まる小さな生き物回収調査では、フナ、モツゴ、ヨシノボリ、テナガエビ、ヤゴなどの小さな生き物の棲みかになっている事が分かり、粗朶が生き物のゆりかごとなっている良い結果が出ています。今後はヨシや二枚貝の定着確認をするともに、粗朶の沈床方法や、生き物回収方法をさらに工夫しより効果的な住処づくりを進めていきたいと思っています。私達の思いは、この内ヶ池を従来のような多様な生き物が棲める池になるように、水辺に水草を増やし小魚や水生昆虫等の隠れ家や産卵場所になる粗朶の沈床を行う事を、行政や関係者に働きかけながら活動をしていきたいと考えています。



たかつき環境市民会議では各グループの会員を募集しています

発行：一般社団法人 たかつき環境市民会議
 編集：たかつき環境市民会議編集委員会・プレスグループ
 問合せ先：たかつき環境市民会議事務所

「事務所のご案内」
 ●住所：高槻市出丸町2番30号 高槻市環境緑政課分室内
 ●TEL・FAX：072-675-4646
 ●mail：takatsukikankyo21@gaea.ocn.ne.jp

エコ&エコーVol.29

2016年11月20日発行

この広報紙の編集を手伝ってくださる方を募集しています。一緒にいかがですか

自然環境の保存・利用の活動をすすめています



2016 夏・秋特集号

柱本興楽寺の仁王像
三島江散策
 10月4日



三島江のコスモスロードと段蔵

- ◆ Contents
- 1 歴史と自然を育む三島江の散策(4面に記事)・エコ事業所G紹介
- 2~3 夏・秋の活動記録(全体活動 グループ活動)
- 4 グループ活動報告(チャレンジングG・水環境保全G)
- ◆ イベントの予告：エコフェスタ(29/01) 芥川クリーンアップ大作戦(29/03)

エコ事業所グループの今； CO2排出量削減(省エネ・節電)コンペの開催
 エコ事業所グループ 辻上武彦

2020年以降の地球温暖化対策の新たな国際的枠組み[パリ協定]が11月4日発効しました。これに先駆け政府は「地球温暖化対策計画」を閣議決定し、CO2排出量を2030年に2013年比26%削減することを決定しています。エコ事業所グループでは地球温暖化防止活動の一環として、市内で事業活動を行なわれている事業者の皆さまにご協力頂き、CO2排出量削減(省エネ・節電)コンペを毎年開催しています。

参加事業者に、二酸化炭素排出量を把握してもらうことで、『見える化』のきっかけ作りができます。また、コンペを実施したことで啓発をうけられた各参加事業者において、独自の取り組みが行われ、2015年度は電力使用量が平均6%(前年比)削減されるなど、省エネ・CO2排出量削減に繋がったことに加え、各事業者の環境意識の向上に寄与しております。

また、環境省の補助事業であるEco-CRIP(5回の訪問支援によりしてCO2排出量削減のためにシステムの構築を手伝い)の活用やエコアクション21普及活動を行い、持続可能な経済社会を築くためにグループ挙げて取り組んでいます。

2016 夏・秋 活動の記録



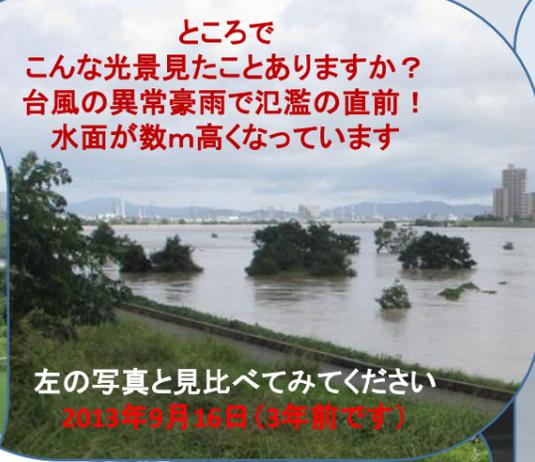
津之江公園を活かす会の活動
2016年7月1日 8月5日 9月2日
9月23日 10月7日 10月21日 11月4日

チャレンジング・グループの初活動
歴史と自然をはぐくむ三島江の散策
背景画像も 2016年10月4日



三島江散策
唐崎から淀川河川敷を行き
淀川河川公園三島江地区へ

2016年10月4日



ところで
こんな光景見たことありますか？
台風の異常豪雨で氾濫の直前！
水面が数m高くなっています

左の写真と見比べてみてください
2013年9月16日(3年前です)



ミズヒマワリ除去
2016年11月4日



観察会
2016年9月2日

第32回 高槻市都市緑化フェア
2016年10月23日
城跡公園



水環境保全グループの
サイコロづくり工作を楽しむ
子供たち



三島江散策 三島江 三島鴨神社
2016年10月4日



参道の鳥居



昆虫の観察と定例活動
2016年10月21日

ショウリョウバッタ

高槻クリーンセンター一般公開イベント
クリーンフェスタ高槻に参加
2016年11月6日



高槻クリーンセンター
前島



市民が多勢参加して
職員と一緒にハニタンおどりを
楽しみました

環境大学の活動
2016年7月～11月

尼崎21世紀の森 見学会
2016年8月18日



高槻森林センターでの実習



2016年10月13日

水環境保全グループの活動
4面にも記事
2016年5月～10月

三好山の自然と歴史を歩いて学ぼう会



参加者、スタッフ併せて60名が三好山
に登り、芥川山城の栄えた時代の歴史
と現在の自然について学びました
2016年9月24日

芥川に於けるミズヒマワリ駆除
(5月～10月)
今年度は城西橋→芥川大橋間(女瀬川
舎)を集中駆除区間として実施しています



ゴムボートで漕ぎ出での除去作業
2016年9月15日



里山グループが“木の実工作”で参加
総勢80名の子供たちがそれぞれの感性豊かに
すばらしい作品を完成しました

市長も挨拶

